

マップ片手にフリーハイキング

森林学びハイキング「多様な植物と木材活用を知る」(神戸市建設局共催)

# 森林植物園・山田道散策コース

約 8 km  
一般向

10月2日(日)：鈴蘭台駅 9:00~10:00 集合スタート

コース：鈴蘭台駅~森林植物園~山田道~谷上駅



本日は入園無料

所要時間の目安  
約 2 時間 20 分  
(休憩時間を除く)

森林植物園正門発  
北鈴蘭台駅行  
無料送迎バス時刻表

10:50	13:50
11:50	14:50
12:50	15:50
	16:50



YouTube  
神戸電鉄公認  
チャンネル

神鉄ハイキングのコースをご紹介する動画等配信中!  
しんてつ+わんチャンネル

チャンネル  
はこちら!



もしくは、YouTube で検索!  
しんてつ+わんチャンネル

# 多様な植物と木材活用を知る

今回は、鈴蘭台駅を出発し、神戸市立森林植物園を散策したのち、山田道を経て谷上駅に至るコースです。

このページでは、森林植物園のご紹介と、神戸市における木材活用の取組みについてご紹介します。（下記①～④の場所は表面地図を参照）

## ○森林植物園について

神戸市立森林植物園は、市街地から至近の六甲山地の一角に、自然を最大限に活用し、単なる見本園ではなく、生きた植物本来の姿を樹林としてご覧いただける、総面積142.6haの広大な植物園です。園内には、約1,200種（うち約500種は外国産）の木本植物を中心に、北アメリカ産樹林区、ヨーロッパ産樹林区、アジア産樹林区、日本産樹林区（北日本区・照葉樹林区・日本針葉樹林区）といった原産地別に、自然生態を生かした樹林として植栽展示しています。

## ○木材活用について

木材を活用することは、地球温暖化の防止だけでなく、適切な森林の維持にもつながります。今回ご紹介する森林植物園の森林展示館では、園内の維持管理で発生した木材を活用しています。そのほかにも神戸市では、森林整備で発生した木材を区役所などの公共建築物で活用したり、「木を伐り、街でつかう」循環をつくるための仕組みづくりにも取り組んでいます。

### ①学習の森（旧・教育植物園）

小学校校庭で見ることのできるような身近な植物の観察などをテーマに昭和16年に開園した教育植物園ですが、その後当初の役目を終え昭和58年には森林植物園に合併されました。

現在は「学習の森」として一般開放されており、六甲山地の自生植物を主に収集・植栽し、多種の野鳥や昆虫たちの生育する環境づくりを行っています。

#### 旧・教育植物園の名残

旧・教育植物園には、昔は木造の林間学舎や園地もありましたが、いまは大木化した校庭樹木などのほか往時をしのぶようすはありません。



### ②ストックヤード

私有林や神戸市有林、都市公園や街路樹から伐採した樹木を市内公共施設等の建築材などとして活用し、新たな利用に供するため、建設局防災課が中心となり運営しているストックヤードです。これまでしあわせの村のなかにはありましたが、今秋から市内2番目のストックヤードとして活躍予定です。

#### つかえる木ってどんな木？



木材というと、林業で生産されるスギやヒノキなどの針葉樹、もしくは外国から輸入されてくる木材を思い浮かべるかもしれません。一方で、私たちの身の回りにも広葉樹を中心とする多くの樹木が生育しています。こうした樹木も適切に活用すれば家具や内装などに十分使える木材なのです。今、こうした木材に注目が集まっています。神戸市では森林や公園などの整備から発生する木材として、スギ・ヒノキだけでなく、広葉樹の活用にも取り組んでいます。ひょっとすると、どこかでみなさんのお目にかかるかもしれません。ぜひ注目してみてください。

### 森林植物園（③コウヨウザン林・④森林展示館）

1940年に起工した森林植物園には、世界のいろいろな樹木が植栽展示されています。その中で昨年の春に間伐を実施した中国原産のコウヨウザンや、森林病虫害の被害を受け伐採したコナラを展示館の床材の改修に活用しています。

#### コウヨウザンの森



#### 森林展示館



#### 森林病虫害とは？

ナラ類、シイ・カシ類などの樹種には、「カシノナガキクイムシ」と呼ばれる森林病虫害が被害をもたらします。この森林病虫害は、樹木に入り込み、産卵します。その際に媒介するナラ菌などにより、通水障害が引き起こされ、最悪の場合、樹木は枯死に至ります。1本の樹木から数万頭が羽化脱出することがあると言われており、被害にあった木の伐採や駆除が必要となっています。

（右）ほぼ原寸大のカシノナガキクイムシ

